

2009年4月7日

次世代太陽電池などのフロントパネル向けハイガスバリアフィルム  
「VIEW-BARRIER」を世界市場で展開

三菱樹脂株式会社

三菱樹脂株式会社(本社:東京都中央区 社長:吉田 宏)は、次世代太陽電池や有機ELディスプレイ、電子ペーパーなどのフロントパネル向け素材として、優れたガスバリア性に加えて、反射防止性、UVカット、視野角特性などの機能を有するハイガスバリアフィルム「VIEW-BARRIER」を、4月15日に発売し、世界市場に向けた事業展開を開始します。

この「VIEW-BARRIER」は、既にサンプル提供している国内外メーカーの評価の結果、その性能が実証されたことから、世界最高水準の水蒸気バリア性を持つ透明蒸着ハイガスバリアフィルム「X-BARRIER」のシリーズとして、本格的な展開を始めることとなったものです。

昨今、有機薄膜型や色素増感型の太陽電池の技術開発が進み、有機薄膜型のフィルム状太陽電池の実用化が見込まれ、また、色素増感型太陽電池を「ロールtoロールプロセス<sup>\*</sup>」で生産する技術が開発されるなど、太陽電池の軽量・薄型化、フレキシブル化が進んでいます。また、これに伴い、フロントパネルにおいては、ガラスの代替品として使用される高機能フィルムに対し、より高度で多様な性能が求められています。

当社は、昨年7月より、透明フィルムとしては世界最高水準となる $10^{-4}$ (g/(m<sup>2</sup>・d))レベルの水蒸気バリア性を実現し、かつお客様のニーズに合わせてカスタマイズする「X-BARRIER」を世界市場で展開し、太陽電池部材や、高度医療・医薬品向け包装材として採用が広がっています。

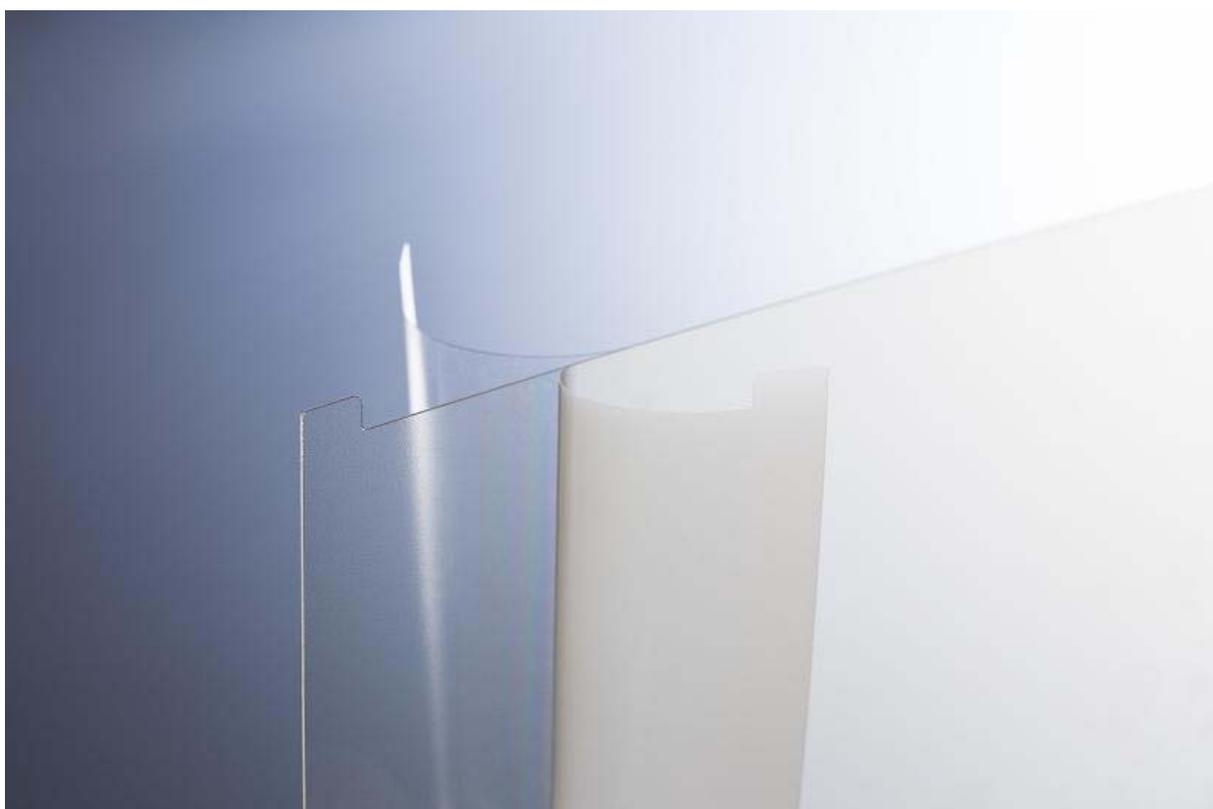
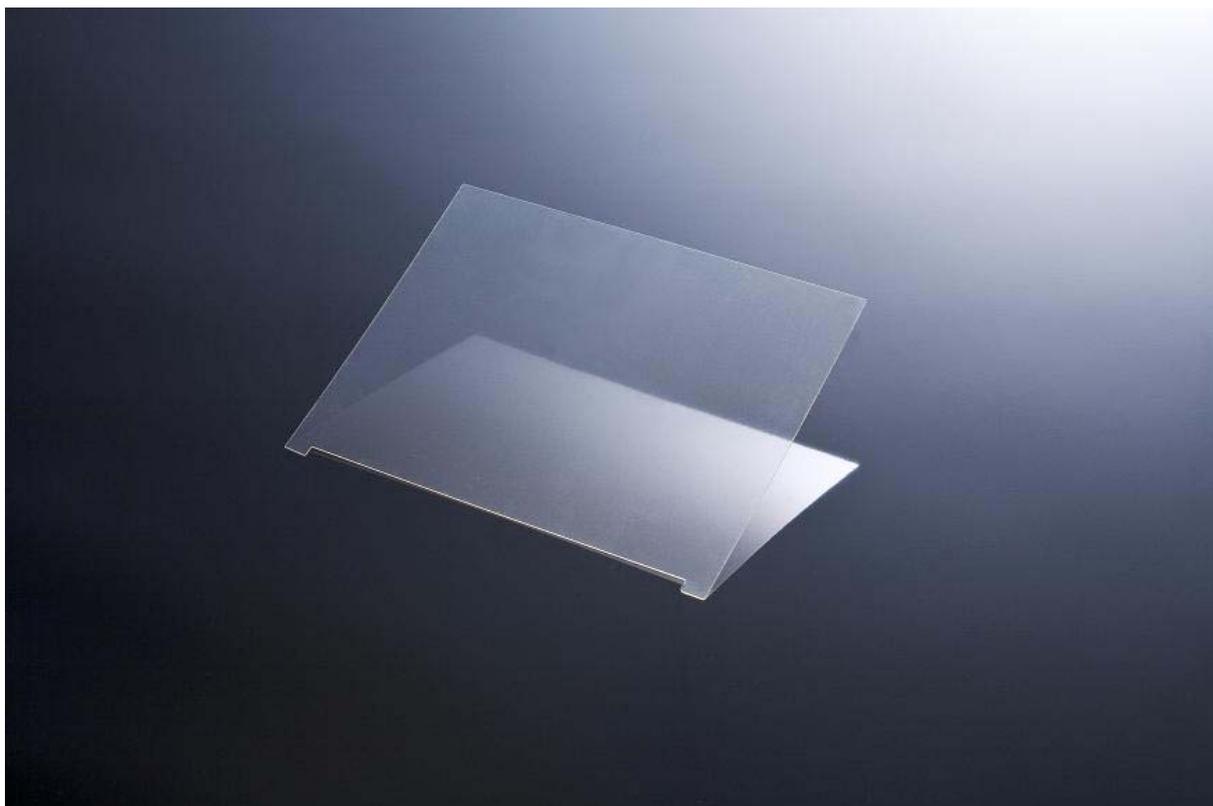
今回新たに事業展開する「VIEW-BARRIER」は、「X-BARRIER」で実現した優れたガスバリア性能に加え、パネル表面部材として求められる反射防止性や、UVカット、防眩性、導電性、低収縮性、加工適性など、お客様の求める性能に合わせてカスタマイズ可能な高機能フィルムです。次世代太陽電池や有機ELディスプレイ、電子ペーパーなどのエレクトロニクス製品の軽量・薄型化やフレキシブル化を促進し、製造工程の簡素化(簡略化)や革新的なコスト削減への貢献が期待されます。

当社は、この「VIEW-BARRIER」を含め「X-BARRIER」全体で2年後50億円の販売を目指してまいります。同時に、技術改良を進め、さらなる水蒸気バリア性の向上を今後も追求してまいります。

なお、本年4月15日(水)～17日(金)に東京ビッグサイトで開催される「第19回 ファインテック・ジャパン」の当社ブースにおいて、「VIEW-BARRIER」を展示する予定です。

【解説】 \* ロールtoロールプロセス

印刷工程のように、ロール状のフィルム基板に有機半導体材料などを組み込んで各種デバイスを製造する工程。



【「VIEW-BARRIER」写真】

＜本件に関する報道関係のお問合せ先＞  
三菱樹脂株式会社 総務部 広報室 TEL:03-3279-3800